

感謝を込めてパーベルにハグ
おめでとう 三宅宏実選手
女子重量挙げ四十八キログラム級で銅メダル



頑張った三宅宏実さん

十月十七日、渋谷セルリアンタワー東急ホテルにて、女子重量挙げ四十八キログラム級で銅メダルを獲得しました。三宅宏実さんのリオ五輪メダル祝賀会が開かれました。

前・日本ウエイトリフティング協会会長だった、小池百合子都知事、各界の大勢の方々が集い、最後まで諦めない敢闘精神で、重いバーベルを持ち挙げた三宅宏実さんを祝いました。

高尾山との関係は、毎月必ず高尾山にお詣りに来られる篤信者様が、ローマオリンピック銀メ

ダル、東京・メキシコオリンピックで金メダルを獲得した有名な三宅義信様であり、実弟で現在日本ウエイトリフティング協会々長・三宅義行様のお嬢様が三宅宏実さんというご子なのです。

三宅義信様は、お願い事がありますと、必ず高尾山にいられて御護摩供修行をされ、当時、日本ウエイトリフティング協会々長でした小池百合子様の都知事当選祈願、三宅宏実さんのリオオリンピックでの必勝祈願をされていました。

そして、祈願が成就しますと、台風の時でも必ず御礼詣りに来られ、御本尊・飯縄大権現様に感謝を申しあげました。大山御貫首は、以前、高尾山の暮れに行う年中行事の「おみがき」という

仏器磨きの時に、三宅宏実さんが偶然お詣りに来られて、一緒に仏器を磨き、終わってから休憩時間に出された、お汁粉を食べて帰ったと話されておりました。



三宅義行様、三宅宏実さん、三宅義信様の三宅ファミリーの応援の力で笑顔

第十一回高尾山健康登山親睦会の集い

去る九月二十四日(土)、第十一回高尾山健康登山親睦会の集いが行われ、およそ百名の会員の皆様に参加された。波多野重雄会長と原秀誠僧正による御挨拶に



演歌に合わせて踊る、新舞踊が披露される

おはなし散歩道
子天狗と風車

町田市 大澤 桃代

子天狗が大銀杏に腰かけて、神社のお祭りを楽しんでいました。子天狗は子どもの天狗で神通力の修行中だった。大天狗さまは言う。(神通力とは祈りだ)と。境内には屋台が並び大勢の人がいた。舞台からは子どもたちの歌声が聞こえる。

「てんてん 天狗がてんころりん お空の上から てんころりん」
小学生の子に交じって、幼い女の子が澄んだ声で歌っていた。子天狗と同じ五歳くらいだろうか。
歌が終わる拍手が起った。子どもたちはみな風車をもらい、幼い子は赤い風車を受け取った。
爺さんが言った。
「咲子良かったな」と。
爺さんは咲子を抱き上げ屋台へ向かう。子天狗は二人の後を追った。

「爺ちゃん、風車がない」
すると、人混みの中から突然咲子の声がかした。
「この人じゃあ、探せねえ、咲子あきらめろ」と、爺さんが言った。
いやだ、と咲子は爺さんの腕から下りる。爺さんが「危ねえよ」と引き止めた。咲子が大声で泣く。
子天狗も地面に下りて風車を探すが、人の波に押し戻されて、見つけることができなかった。咲子と爺さんは、帰ってしまったよ、泣き声も聞こえなくなった。
夜になり、人の姿もまばらになった。屋台も片づけを始めた。
あれっ？ふと見上げた杉の枝に赤い色が見える。子天狗が飛んで行く。風車があった。人波にもまれるうちに、枝に引っかかってしまったのだ。

子天狗は風車を届けたい家がわからない。そこで、鳩に聞いた。
「鳩さん、咲子ちゃんの家を知らない？さっき舞台上で歌ってた子だよ」
鳩は首を横にふる。
「知らないわ。舞台もみてないの」
「そう、ありがとう」
参道には狛犬がいる。「狛犬さんたち、咲子ちゃんの家を知らない？」
狛犬たちは、何やら話し合っていたが、
「知ってるよ。お爺さんと二人暮らしの女の子だ。歌の上手い子だね」と、言った。貧しい家だが



信心深く、よく神社にお参りに来るそうだ。
「お家は？」と子天狗が聞く。
「いや、家はわからん。むしろ狛犬は動けんからな」
「そう……ありがとう」
子天狗はしょんぼりした。枝に戻せば他の子が持つて行ってしまってもいい。
カー、カー、と夜空にカラスが鳴いた。
「カラスさーん！」
子天狗が呼び止めた。
「子天狗どん、どうしたね」
風車と咲子の話をする。カラスは言った。
「仲間が知ってるだろうが、ねぐらに帰っちゃったよ」
子天狗はまたがっかりした。するとカラスが言った。「子天狗どんは天狗じゃ。神通力で探せねえのか？」
子天狗はハツとして大天狗さまの言葉を思い出した。(神通力は祈りの心じゃよ)

子天狗は咲子を思い浮かべ風車を届けたいと念じた。
夜通し一心に祈り続けた。
次の朝、神社の石段を上る影が二つあった。
「咲子と爺さん！」
天狗は目を見張った。
「爺ちゃん、あそこ！」
「おう、本当にあつたよお」
お爺さんが目を丸くして、枝に手を伸ばした。
「ほんに、正夢だ」
「うん！夢のとおりだよ。天狗さんが教えてくれた」
「天狗さーん。有難う！」
咲子が空に叫ぶ。
(願いが届いたんだ)
子天狗は、八つ手の団扇で風を起こした。赤い風車がくるくる回る。カーとカラスが鳴いて子天狗と一緒に空に舞います。
(子天狗、ようやった)
空に、大天狗さまの聲が響いた。(完)
(さし絵・小出 茂)